

# オープンキャンパス「経済原論」

2024（令和6）年5月11日（土）

## ○ 公務員試験の勉強法

- ① 経済学は、ミクロ経済5問、マクロ経済5問が出題されることが多い。
- ② 経済学の難解な理論に深入りせずに、公務員試験の問題を解くということに割り切ることが大切です。
- ③ 計算問題は、微分や指数法則、数列などの公式やルールに慣れましょう。
- ④ 文章問題だから簡単というわけではありません。
- ⑤ 繰り返し問題を解き（最低3回）問題の形式に慣れましょう。

## ○ 問題演習

- （1）例題1 完全競争市場における最適生産量
- （2）例題2 ゲーム理論のナッシュ均衡

## 例題 1 完全競争市場における最適生産量

利潤最大化を行う、ある企業の短期の総費用関数が、

$$C(x) = x^3 - 6x^2 + 18x + 32$$

で示されるとする。ここで、 $x(\geq 0)$  は生産量を表す。また、この企業は完全競争市場で生産物を販売しているとする。生産物の市場価格が54のとき、最適な生産量はいくらか。

- 1** 3
- 2** 4
- 3** 5
- 4** 6
- 5** 7

## 例題2 ゲーム理論のナッシュ均衡

次の表は、XとYの2企業がそれぞれ1、2の戦略を選択したときの利得を表したものである。表の各項の左側の数値が企業Xの利得、右側の数値が企業Yの利得である。2企業が互いに協調しない場合、両企業が選択する戦略に関する記述として、妥当なものはどれか。

|     |     | 企業Y   |        |
|-----|-----|-------|--------|
|     |     | 戦略1   | 戦略2    |
| 企業X | 戦略1 | 7, 16 | 6, 9   |
|     | 戦略2 | 9, 11 | 11, 13 |

- 1 企業Xは戦略1、企業Yは戦略2を選択する組合せはナッシュ均衡である。
- 2 企業Xは戦略2、企業Yは戦略1を選択する組合せはナッシュ均衡である。
- 3 企業Xと企業Yともに戦略1を選択する組合せはナッシュ均衡である。
- 4 企業Xと企業Yともに戦略2を選択する組合せはナッシュ均衡である。
- 5 企業Xと企業Yともに戦略を選択できず、囚人のジレンマと呼ばれる状態が発生する。